

## 編集後記

2025年4月13日から10月13日の184日間、大阪<sup>ゆめしま</sup>夢洲で大阪・関西万博が開催されました。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」です。多くの国が未来社会を夢みて、輝く「いのち」、それを形にしていました。そこでは情報通信技術(ICT)を活用して未来の社会が描かれていました。さらに来場者がスマートフォンを使って、みんなで協働して未来の社会、そして「いのち」を形にしていました。

皆様は覚えておられるでしょうか。1977年に打ち上げられたボイジャー探査機を。ボイジャー探査機は、地球の「いのち」、文化を伝えるためのゴールデンレコードを持っています。巡り合えないかもしれないけれど、宇宙のかなたの「いのち」と出会えることを夢見て、今も旅を続けています。

ふと、私たち技術者は、いつも「いのち」を守るための活動をしている、そのような気がします。安心して歩ける道の設計、安全に使える機械の設計、安心して食べられる農作物の育成、環境の保全など、技術の全てが地球上に生きる多くの「いのち」を守るために存在しているのではないのでしょうか。それでも守れない「いのち」があります。そのために「科学技術の向上と国民経済の発展に資する」という技術士の理念に沿って、これからも当会は活動を続けてまいります。

会報第33号では、17人の会員に執筆していただきました。各会員の専門分野に関する技術論文、私たちが暮らす郷土～徳島～に関する寄稿、大変勉強になる寄稿、楽しませてくださる寄稿など、さまざまなテーマの寄稿があります。さらに、毎年継続している「なでしこ技術サロン」や阿南高専への出前講座などを通して、当会の広報活動や地域貢献事業をより充実したものにできていると実感しています。

協賛していただきました企業の皆様、当会の活動にご理解を賜り、心温まるご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げます。表紙絵画をいただきました加賀晃次名誉会員（第五代会長）、広報委員を含め会報の発行にご協力いただきました理事会の方々、毎年の会報発行にご尽力いただいております松下印刷様、本会報を手にとっていただきました皆様に心より感謝申し上げます。

徳島県技術士会 広報委員会

委員長 田中 昌治

副委員長 多田 圭一

広報委員 上田 幸男、神田 幸正、平尾 芳典、宮住 勝彦（五十音順）